

## 2020年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月7日

上場会社名 カルナバイオサイエンス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4572 URL https://www.carnabio.com  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)吉野公一郎  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理本部長 (氏名)山本詠美 (TEL)078(302)7075  
 四半期報告書提出予定日 2020年8月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日~2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	579	△76.4	△375	—	△380	—	△397	—
2019年12月期第2四半期	2,460	516.6	1,451	—	1,446	—	1,195	—

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 △400百万円(—%) 2019年12月期第2四半期 1,193百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	△32.60	—
2019年12月期第2四半期	113.86	112.54

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	5,349	4,543	84.9
2019年12月期	5,376	3,853	71.5

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 4,539百万円 2019年12月期 3,842百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日~2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	1,036	△67.7	△1,779	—	△1,794	—	△1,822	—	△156.45	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年12月期2Q	12,407,100株	2019年12月期	11,654,500株
2020年12月期2Q	5,124株	2019年12月期	5,124株
2020年12月期2Q	12,195,162株	2019年12月期2Q	10,502,334株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社は、創薬事業においては、アンメット・メディカル・ニーズの高い未だ有効な治療方法が確立されていない疾患を中心に、特にがん、免疫炎症疾患を重点領域として画期的な新薬の開発を目指して研究開発に取り組み、また、創薬支援事業においては、新たなキナーゼ阻害薬創製のための製品・サービスを製薬企業等へ提供するため、営業活動に取り組んでおります。

当第2四半期連結会計期間におきまして、当社が創製したCDC7阻害剤AS-0141に関するシエラ・オンコロジー社（以下「シエラ社」）との2016年5月26日付けライセンス契約を終了し、同剤の開発・販売・製造に関する全権利を当社が再取得いたしました。本件は、シエラ社が経営方針を変更し、臨床試験のフェーズ3段階にある同社の別のパイプラインに経営資源を集中的に投資すると決定したことを受けたものです。AS-0141はシエラ社によって米国におけるIND申請（新薬臨床試験開始届）が完了しており、当社はシエラ社が実施したすべての前臨床試験データ、原薬及び治験薬等を譲り受け、新たな開発計画を策定中です。

当社の2つのBTK阻害剤ポートフォリオのうち、炎症性免疫疾患を対象として開発を進めているBTK阻害剤AS-0871の第I相臨床試験について、欧州における新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、医療機関の負担軽減のため、また被験者の安全確保のための対策を講じる必要が生じたため、投与開始が当初予定より延期となっております。現在、最初の被験者への投与を8月中旬に予定しており、関係各所と協力し準備を進めています。AS-0871の第I相臨床試験は健康成人男女を対象としたプラセボ対照無作為化二重盲検、用量漸増単回経口投与試験です。本試験はオランダにて実施され、最大で延べ64名の被験者を対象に安全性、忍容性、薬物動態および副次的に薬力学を評価します。

イブルチニブ耐性の血液がんを治療標的とした次世代BTK阻害剤AS-1763については、臨床試験開始に向けて前臨床試験を実施中であり、ほぼすべての試験が終了し、治験に用いる製剤の準備を進めています。すべてのデータがそろい次第、2020年中に欧州でCTA（Clinical Trial Application、臨床試験許認可申請）を提出する計画です。また、AS-1763の価値をより早期に最大化するため、中華圏（中華人民共和国及び台湾）における開発・商業化の権利を中国バイオノバ・ファーマシューティカルズ（以下「バイオノバ社」という）に供与する契約を2020年3月に締結しております。今後、中国においてバイオノバ社が臨床試験を実施することになり、当社はバイオノバ社が実施したAS-1763に関するより多くの臨床試験データを収集・利用することで、AS-1763の治験を加速できると考えております。当社は、中華圏における今後のAS-1763の開発進捗に伴い、バイオノバ社から最大で約205百万ドル（約215億円）を受け取ることになり、さらに、AS-1763の中華圏における上市後の売上高に応じた最大2桁の料率の段階的ロイヤリティを受け取ります。

創薬支援事業においては、当第2四半期連結累計期間の売上高は526百万円（前年同四半期比58.3%増）となりました。2019年6月に締結した米国のギリアド・サイエンズ社との新規がん免疫療法の創薬プログラムに関するライセンス契約に関連し、当社による当該プログラムの開発をサポートするため、当社の脂質キナーゼ阻害剤に関する創薬基盤技術を一定期間、独占的に当社に供与することになっており、これに関連した売上が当第2四半期連結累計期間の売上を押し上げました。一方、当第2四半期連結会計期間においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、製薬企業等が研究所を閉鎖するなどの対策をとっていたため、一部顧客からの受注に影響がみられました。また、中国を含むその他地域の売上は、1月、2月に前年同期比で減少し、3月に一旦回復したものの、第2四半期連結会計期間には再び減少に転じました。当社製品のユーザーである中国のCRO（開発業務受託機関）は欧米の製薬企業から委託を受けて研究を行っていると思われ、欧米製薬企業が研究活動を低下させている影響を受けているとみられません。国内では、新型コロナウイルス感染症の売上への影響は限定的でした。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は579百万円（前年同四半期比76.4%減）、営業損失は375百万円（前年同四半期は1,451百万円の営業利益）、経常損失は380百万円（前年同四半期は1,446百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は397百万円（前年同四半期は1,195百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。なお、前年同四半期からの業績の大幅な変動は、ギリアド・サイエンズ社との上記ライセンス契約締結に伴い、前年同四半期に契約一時金2,128百万円を受領したことが要因です。

セグメント別の業績は次の通りです。

#### ①創薬事業

当第2四半期連結累計期間において、バイオノバ社とAS-1763の中華圏におけるライセンス契約を締結したことにより、契約一時金を受領いたしました。また、前臨床試験や臨床試験開始に向けた積極的な投資により、研究開発費は561百万円（前年同四半期比21.4%増）となりました。以上の結果、創薬事業の売上高は53百万円（前年

同四半期比97.5%減)、営業損失は613百万円(前年同四半期は1,435百万円の営業利益)となりました。

## ②創薬支援事業

キナーゼタンパク質の販売、アッセイ開発、プロファイリング・スクリーニングサービス及びセルベースアッセイサービスの提供等により、創薬支援事業の売上高は526百万円(前年同四半期比58.3%増)、営業利益は237百万円(前年同四半期比1412.6%増)となりました。売上高の内訳は、国内売上が124百万円(前年同四半期比16.6%増)、北米地域は333百万円(前年同四半期比130.6%増)、欧州地域は37百万円(前年同四半期比3.5%減)、その他地域は32百万円(前年同四半期比25.7%減)であります。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は5,349百万円となり、前連結会計年度末と比べて27百万円減少しました。その内訳は、売掛金の減少26百万円等であります。

負債は805百万円となり、前連結会計年度末と比べて717百万円減少しました。その内訳は、1年内返済予定の長期借入金の減少47百万円、未払金の減少187百万円、未払法人税等の減少106百万円、長期借入金の減少88百万円等であります。

純資産は4,543百万円となり、前連結会計年度末と比べて689百万円増加しました。その内訳は、株式の発行による資本金及び資本剰余金の増加1,097百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失397百万円の計上等であります。

また、自己資本比率は84.9%(前連結会計年度末は71.5%)となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月7日公表の「2019年12月 決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の2020年12月期の連結業績予想に変更はありません。

本連結決算短信公表時点までにおいて、新型コロナウイルス感染症の当社の売上及び事業活動への影響は限定的ですが、今後の世界各地での感染拡大の状況によっては、連結業績予想に影響がある可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,915,056	4,920,579
売掛金	117,499	90,989
商品及び製品	62,864	64,496
仕掛品	10,266	9,577
原材料及び貯蔵品	26,284	17,741
その他	142,921	118,915
流動資産合計	5,274,893	5,222,300
固定資産		
有形固定資産	29,799	29,172
無形固定資産	234	4,051
投資その他の資産	71,683	93,486
固定資産合計	101,717	126,710
資産合計	5,376,610	5,349,010

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	3,173	—
1年内償還予定の社債	28,000	28,000
1年内返済予定の長期借入金	270,972	223,759
未払金	276,120	88,361
未払法人税等	120,822	13,952
その他	356,073	85,622
流動負債合計	1,055,162	439,695
固定負債		
社債	88,000	74,000
長期借入金	341,784	253,511
資産除去債務	36,255	36,547
その他	1,886	1,817
固定負債合計	467,926	365,876
負債合計	1,523,088	805,571
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,657,466	558,829
資本剰余金	3,475,491	4,310,038
利益剰余金	△4,289,192	△324,958
自己株式	△222	△222
株主資本合計	3,843,543	4,543,686
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△354	6
為替換算調整勘定	△496	△3,805
その他の包括利益累計額合計	△851	△3,798
新株予約権	10,830	3,550
純資産合計	3,853,522	4,543,439
負債純資産合計	5,376,610	5,349,010

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
売上高	2,460,795	579,703
売上原価	90,029	80,645
売上総利益	2,370,765	499,057
販売費及び一般管理費	919,358	874,328
営業利益又は営業損失(△)	1,451,407	△375,271
営業外収益		
受取利息	6	79
受取配当金	188	193
助成金収入	—	785
為替差益	2,542	2,476
その他	140	93
営業外収益合計	2,878	3,627
営業外費用		
支払利息	3,901	4,204
支払保証料	910	741
株式交付費	2,883	4,373
その他	239	12
営業外費用合計	7,934	9,331
経常利益又は経常損失(△)	1,446,350	△380,975
特別利益		
新株予約権戻入益	—	1,000
特別利益合計	—	1,000
特別損失		
減損損失	25,149	16,371
特別損失合計	25,149	16,371
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,421,201	△396,346
法人税、住民税及び事業税	225,464	1,240
法人税等調整額	△77	△71
法人税等合計	225,387	1,168
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,195,813	△397,514
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,195,813	△397,514



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,195,813	△397,514
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	479	361
為替換算調整勘定	△2,861	△3,308
その他の包括利益合計	△2,381	△2,947
四半期包括利益	1,193,431	△400,461
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,193,431	△400,461

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,421,201	△396,346
減価償却費	3,727	5,694
減損損失	25,149	16,371
受取利息	△6	△79
受取配当金	△188	△193
支払利息	3,901	4,204
株式報酬費用	20,216	25,226
助成金収入	—	△785
株式交付費	2,883	4,373
新株予約権戻入益	—	△1,000
為替差損益(△は益)	△617	△63
売上債権の増減額(△は増加)	△2,154,205	25,951
たな卸資産の増減額(△は増加)	7,078	7,599
仕入債務の増減額(△は減少)	2,976	△3,173
未払金の増減額(△は減少)	94,684	△169,917
前受収益の増減額(△は減少)	1,511	△240,631
その他	34,388	△6,399
小計	△537,300	△729,171
利息の受取額	6	79
利息の支払額	△3,798	△4,054
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△4,066	△90,615
その他	—	785
営業活動によるキャッシュ・フロー	△545,158	△822,976
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△27,211	△38,747
有形固定資産の売却による収入	1,091	—
無形固定資産の取得による支出	—	△4,117
投資活動によるキャッシュ・フロー	△26,120	△42,864
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入金の返済による支出	△117,248	△135,486
社債の償還による支出	△14,014	△14,014
新株予約権の行使による株式の発行による収入	673,472	1,023,423
その他	△35	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	542,174	873,923
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,331	△2,559
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△30,435	5,523
現金及び現金同等物の期首残高	1,355,254	4,915,056
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,324,819	4,920,579

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

株主資本の著しい変動

当第2四半期連結累計期間において、新株予約権の権利行使により、資本金が339,524千円、資本剰余金が339,524千円増加しました。また、当社の取締役及び従業員に対する譲渡制限付株式報酬として新株式の発行を行い、資本金が21,372千円、資本剰余金が21,372千円増加しました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において、資本金が3,952,466千円、資本剰余金が2,770,491千円となっております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

株主資本の著しい変動

当第2四半期連結累計期間において、新株予約権の権利行使により、資本金が517,021千円、資本剰余金が517,021千円、当社の取締役及び従業員に対する譲渡制限付株式報酬として新株式の発行を行ったことにより、資本金が31,807千円、資本剰余金が31,807千円それぞれ増加しました。

また、2020年3月26日開催の定時株主総会の決議に基づく資本金の額の減少及び剰余金の処分により、資本金が4,647,466千円減少し、資本剰余金が285,718千円、利益剰余金が4,361,748千円増加しました。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において、資本金が558,829千円、資本剰余金が4,310,038千円、利益剰余金が△324,958千円となっております。